

調達物品に備えるべき技術的要件・仕様等

1 品目

内視鏡システム一式

2 基本構成

2-1 内視鏡システム一式

- | | | |
|------|------------------|-----|
| (1) | ビデオシステムセンター | 1 式 |
| (2) | 上部消化管汎用ビデオスコープ | 1 式 |
| (3) | 上部消化管汎用ビデオスコープ | 1 式 |
| (4) | 4K UHD LCD モニタ | 1 式 |
| (5) | 24 型モニタ | 1 式 |
| (6) | 専用架台 | 1 式 |
| (7) | モニタスタンド | 1 式 |
| (8) | 内視鏡 DICOM コンバーター | 1 式 |
| (9) | 内視鏡用送水ポンプ | 1 式 |
| (10) | 医療用吸引装置 | 1 式 |
| (11) | 内視鏡消毒洗浄装置 | 1 台 |

3 機器仕様

3-1 内視鏡システム一式

＜ビデオシステムセンター＞

- (1) 最大寸法は W398×H218×D580mm 以上(突起含まず)であること。
- (2) 重量は 19.4kg 以上であること。
- (3) 面順次式と同時式の 2 つの内視鏡撮像方式に対応していること。
- (4) LED 光源を採用しており、Violet、Blue、Green、Amber、Red の 5 色の LED を搭載していること。
- (5) EVIS X1 1500/1200/290/190 シリーズのビデオスコープを使用することができること。
- (6) タッチパネルの採用していること。
- (7) 4K 対応可能な 12G-SDI の映像信号出力を有しており、4K対応 LCD モニタと組み合わせることで解像感のある映像を実現することが可能であること。
- (8) ビデオプロセッサには専用のポータブルメモリーが付属しており、内視鏡画像(静止画)、外

部入力画像(静止画)、各種設定値の保存・読出しができること。

- (9) 3つのサイバーセキュリティモードを有し、「患者情報の漏洩や改ざん」、「不正なアクセスや操作」を防ぐことができること。

<上部消化管汎用ビデオスコープ>

- (10) 視野角が通常観察時 140°以上かつ近接観察時 87°以上であること。
- (11) 視野方向が 0°(直視)であること。
- (12) 観察深度が通常観察時 7~100mm 程度かつ近接観察時 1.5~3mm 程度であること。
- (13) 先端部外径が 9.9mm 以下であること。
- (14) チャンネル径が 2.8mm 以下であること。
- (15) 湾曲角が上 210° 下 90° 左右 100° 以上であること
- (16) 4K 対応 LCD モニタとの組み合わせで、近接拡大観察時に最大 125 倍の観察倍率が得られること。
- (17) ウォータージェット機能を有しており、観察又は治療時の粘膜表面の洗浄を容易に行えること。

<上部消化管汎用ビデオスコープ>

- (18) 視野角が 140°以上であること。
- (19) 視野方向が 0°(直視)であること。
- (20) 観察深度が 3~100mm 程度であること。
- (21) 先端部外径が 5.4mm 以下であること。
- (22) チャンネル径が 2.2mm 以下であること。
- (23) 湾曲角が上 210° 下 90° 左右 100° 以上であること。
- (24) CMOS イメージセンサーの採用によって極細径ながらノイズの少ないハイビジョン画質を実現し高精細な画像で診断が出来ること。

<4K UHD LCD モニタ>

- (25) 外形寸法が W753.9×D79.2×H476.3mm 以上であること。
- (26) 重量が 11.8kg 以上であること。
- (27) 画面サイズが 31.5 型以上であること。
- (28) 解像度が 3840×2160 ピクセル以上であること。
- (29) アスペクト比が 16:9 であること。
- (30) 2 画面表示機能を有していること。
- (31) 2K 内視鏡映像であっても不足している画素をモニタ側で補完し、通常の 2K 画像よりも、より解像感のある映像を実現できること。
- (32) ノイズを増加させることなく質感や精細感をより向上させる新 A.I.M.E.機能搭載していること。

<24 型モニタ>

- (33) 外形寸法は W570×D63.2×H386.8mm 以上であること。
- (34) ディスプレイモニタの重量は 7.35kg 以上であること。

(35) 画面サイズは 24 インチ以上であること。

(36) 解像度は 1920 (H) × 1200 (V) 以上であること。

(37) 2 画面表示機能を有していること。

<専用架台>

(38) 外形寸法は W520×D661×H1750mm 以上であること。

(39) 重量は 87kg 以上(無積荷、絶縁トランス取り付け時)であること。

(40) 積載能力(均等配分時)は最上段トレイ 10kg 中間棚板 /ベース棚各 30kg 以上であること。

<モニタスタンド>

(41) 外形寸法は W638×D620×H1591.5mm 以上であること。

(42) 質量は 18kg 以上であること。

(43) 耐荷重は 15kg 以上であること。

(44) 0° /5° の角度調整が可能であること。

<内視鏡 DICOM コンバーター>

(45) MWM 連携時、検査予約されている検査リストをオーダーリングサーバー (RIS) から取得し、一覧表示が可能なこと。

(46) 記録された内視鏡画像を DICOM 形式で放射線部門システム (PACS) に送信可能であること。

(47) CPU は Intel Core i シリーズ 2 コア/2.1GH 以上の性能を有していること。

(48) 主記憶装置は 8GB 以上を有していること。

(49) ハードディスク容量は 500GB 以上を有していること。

(50) 内視鏡観測装置に最大 6 台接続可能であること。

(51) 外付けハードディスクは 1TB 相当以上を有していること。

<内視鏡用送水ポンプ>

(52) 送水の方式はロータリー式であること。

(53) 鉗子チャンネル、副送水チャンネルのどちらからも送水可能であること。

(54) 送水タンクの容量が 2L 以上であること。

(55) 質量は 4 kg 以上であること。(送水タンクが空の時)

(56) 外形寸法は W244×D385×H220mm 以上であること。(送水タンク搭載時)

<医療用吸引装置>

(57) 吸引ボトルはリユース/ディスポーザブルに対応可能であること。

(58) ボトル容量は 1L または 2L であること。

(59) 吸引方式はピストン式であること。

(60) 吸引圧は可変(ダイヤル式)であり、最大 95kPa 以上であること。

(61) 外形寸法は W305×D375×H210mm 以上であること。

(62) 質量は 9.3kg 以上であること。

<内視鏡消毒洗浄装置>

- (63) 適用本数は 1 本であること。
- (64) 標準工程時間は 16 分であること。(給水条件を満たしている場合)
- (65) 洗浄方式は外表面(超音波洗浄、流液洗浄)、チャンネル内(送液洗浄)、ボタン類(超音波洗浄、流液洗浄)であること。
- (66) 消毒方式は外表面(消毒液浸漬)、チャンネル内(消毒液送液および充漬)、ボタン類(消毒液浸漬)であること。
- (67) 洗浄時間設定は 1～10 分で 1 分ごとに設定変更可能であること。
- (68) 消毒時間設定は 5 分または 10 分で選択可能であること。
- (69) 消毒液加温設定は 20℃(20℃未満の場合に、20℃まで加温可能)であること。
- (70) 洗滌槽容量は約 13L であること。
- (71) 消毒液タンク容量は約 16L であること。
- (72) 使用消毒液はアセサイド 6%消毒液(800ml カセットボトル)であること。
- (73) 目視漏水検知は液中での気泡確認法であること。
- (74) 外形寸法は W450×D792×H1012mm 程度以下であること。

以上